WSF コーチ会議報告書

主催: 世界スカッシュ連盟(WSF) コーチ委員会
日程: 平成 28 年 2 月 19 日(金)～21 日(日)
場所: ホリデービラホテル&カンファレンス(マレーシア/クアラルンプール)
協力: マレーシアスカッシュ協会(SRAM)
参加者: 足立 美由紀 (コーチ委員会委員及び国際委員会委員長)
参加人数: 65 名
参加国数: 5 大陸から全ての参加 (うち、アジア連盟所属国は 13 ヶ国、東アジア連盟所属国は 5 ヶ国)

世界スカッシュコーチ会議は、急速に進む世界の情報を共有してコーチのレベルアップに役立てる事が目的で 2 年に一度開催されています。(世界ﾚﾌﾘｰ会議と交互開催) また、世界各国の情報をコーチ同士が交換しあう貴重な場でもあります。WSF からは、ラマチャンドラン会長やコーチ委員会の責任者で副会長の Linda McPhail 氏もカナダから参加され、WSF コーチ委員会委員長 Maj（R）S.Maniam 氏 の元、マレーシア協会の協力で 3 日間の日程で実施されました。

特に今年は、2014 年に新しく設置された CEP(コーチ教育プログラム)が発足して以来初めての会議であり、このプログラムの認知と今後の確立のためにも大事な会議となります。
今後は、この CEP を通じて、殆ど全ての情報が WSF のサイトを通じて世界のコーチが共有できるシステムとなっていく予定で、世界各国のコーチの情報も共有出来ます。

今回のプログラムは下記の通り。(コンテンツのみ表示/ 講師の所属国)
・LTPD(長期的選手育成プログラム) / WSF
・スクールスカッシュ / 南アフリカ
・フットワークとムーブメント / ブラジル
・エリートジュニアトレーニング / マレーシアナショナルコーチ
・誤りの認知と段階的な修正の的確な判断 / オーストリア
・スカッシュメンタルトレーニングの長期的プログラム / マレーシアナショナルセンター
・グループフィットネス / ハンガリー
・Deception 相手を騙すショット / シンガポール
・女子エリート選手の育成 / マレーシア
・エリート選手の育成には何が必要か / マレーシアナショナルコーチ
・ノークエスチョン、ノーコーチング / WSF
・ハムストリングの怪我 / マレーシアナショナルセンター
・バドミントンアカデミーの見学: トレーニングの内容 / マレーシア
・パワーと筋持久力の見極めとトレーニングの方向性 / マレーシアナショナルセンター
・膝の怪我とスカッシュ選手に必要なトレーニング / イラン
・オープンフォーラム

全てのコンテンツは WSF サイトで確認できる予定(コーチ登録された方は閲覧可能です。)ですが、いつから可能かはまだ不明です。ご質問があればご連絡下さい。

以上